



自然、科学、芸術をつなぐ国際フェスティバル

「科学と芸術の丘2018」の開催について

— テーマ — 自然・地球・宇宙

10月20日（土）～21日（日）の2日間、松戸駅周辺において自然・科学・芸術をつなぐ国際フェスティバルを初開催いたします。時代を切り開く研究者や表現者が国内外から松戸市に集まって、“自然・地球・宇宙”をテーマに、戸定邸をはじめとする松戸駅周辺の文化的施設を会場として、先端科学を駆使したアート作品の特別展覧会やワークショップ、研究者やアーティストによるトークなどを行います。



本イベントは、文化を軸とした都市ブランドづくりやクリエイターやアーティストが活躍できるまちづくりを掲げる本市事業の一つとして、未来の国際創造都市を実現することを目指して開催するものです。オーストリア・リンツ市で開催される芸術・先端技術・文化の世界最大級の祭典で、芸術やデジタル技術と関わる機会も提供している「アルスエレクトロニカ（※1）」の研究者やアーティストを市内にお呼びして、作品展示やトークなどを行い、国際的なコラボレーションを実施します。

また、東京大学宇宙線研究所（ICRR）や千葉大学園芸学部と連携・協力して、各種展示や参加型のワークショップなども開催し、官民学の垣根を超えた共創の場を提供します。

昨今、国内各所でアートフェスティバルが開催されていますが、自然や科学の分野を、芸術・アートとして視覚的に表現する本イベントのようなフェスティバルは国内でもまだ開催例が少ないことから、市内外の多くの人に新たな発見や体験をお楽しみいただけるフェスティバルとなっています。

※1 アルスエレクトロニカとは

オーストリア・リンツに拠点を置く、メディアアートの文化機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、美術館・科学館としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディアアートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門を軸に、未来の人と社会を描き続けています。



【科学と芸術の丘 2018 概要】

開催日 2018年10月20日(土)・21日(日)(2日間)各10時~17時

会場と実施内容

(1) 戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園

徳川昭武が建てた、全国で唯一、一般公開されている徳川家の住まい「戸定邸」や茶室「松雲亭」、公園内に作品展示やトーク、カフェなどを設置します。本イベントのメイン会場です。

展示 フラワー オフ タイム Flower of Time / アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ (戸定邸)

時間が一定の速度を持つものだという事知っている一方で、時間に対する感覚は人それぞれで異なるものです。この作品は、時間についてのイメージと、時間の使い方のアイデアを視覚化した参加型の作品です。回転速度が異なる時計の針を戸定邸のいくつかの部屋に設置。来場者は時間についての様々なアイデアや思いを花びらに書いて、時計の周りに飾ります。



アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ / アルスエレクトロニカのシンクタンク部門として、アート・テクノロジー・社会について研究開発を実践、まだ見ぬ未来へのシナリオを芸術・実験的に具現化しています。本イベントに2名が来日、イベント参加予定です。

展示 バグズ ビート Bug's Beat / 滝戸ドリタ + 佐々木有美 (戸定邸)

視覚と音響によって、新しい感覚を呼び起こし、価値観をもたらすという、生命と音響の体験型作品で、虫の足音を振動スピーカーによって拡張し、指向性スピーカーによってダイレクトに人の聴覚へ届けさせます。松戸に生息する小さな昆虫たちの動きが増幅されて音として聴こえ、ミクロな世界を楽しむことができます。プリ・アルスエレクトロニカのデジタル・ミュージック&サウンドアート部門で受賞した作品です。



※松戸に生息する昆虫たちを採集したり放したりすることについては、千葉大学園芸学部の昆虫を専門に研究する先生にご協力をいただく予定です。

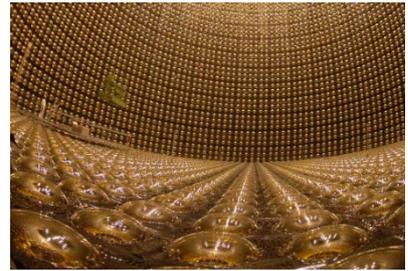
滝戸ドリタ氏 / 東京を拠点に活動するアーティスト、デザイナー、ディレクター、ミュージシャン。視覚と味覚、聴覚と視覚など、常に異なる感覚を混ぜ合わせ新しい体験を生み出す作品で知られています。

佐々木有美氏 / 東京の科学館に勤務。子供たちに向けて、どう遊びや学びを科学教育に活かすか探求しています。



展示 スーパーカミオカンデ光電子増倍管／東京大学宇宙線研究所（戸定邸）

世界最大の地下ニュートリノ観測装置「スーパーカミオカンデ」には、チェレンコフ光という青白いかすかな光を捕らえるため、タンク内面に直径 50 センチの光電子増倍管が約 1 万 1,100 本取り付けられています。その光電子増倍管の 1 つを特別に展示し、本物を間近でご覧いただきます。



※スーパーカミオカンデの映像投影やワークショップは（3）で実施。

東京大学宇宙線研究所／柏市に拠点を置き、宇宙線の観測と研究とを様々な角度から行っており、宇宙ニュートリノ、高エネルギー宇宙線、宇宙基礎物理学の各研究部門があります。所長は梶田隆章博士で、2015 年、ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見によりノーベル物理学賞を受賞しました。

投影 オービッツ クアッドラチュア
Orbits／Quadrature（松雲亭）

宇宙を漂う人工物の軌道を表す音響インスタレーション作品で、私たちの周りを回転する人工衛星や宇宙ゴミの軌跡がシュミレーションされています。Quadrature が人工衛星の位置データを用いて制作し始めた時、アメリカ空軍の公開データに幾つかの物体が足りないことが発見され、熱心なアマチュア天文家から足りない衛星のデータを得て、2つの異なる情報データを重ね合わせています。アートの問題提起とサイエンスの事実への厳密性が融合した作品です。



Quadrature(クアッドラチュア)／ユリアネ・ゲッツとセバスティアン・ナイチュの 2 人による機械と宇宙をこよなく愛すアーティストグループで、芸術的な探求を科学領域に広げ、新しい技術や学術研究を活動の源泉としています。プリ・アルスエレクトロニカのインタラクティブ・アート部門の受賞作品です。

カフェ 丘のマルシェ／市内の若手（戸定が丘歴史公園）

松戸にゆかりのある若手飲食店が、戸定が丘歴史公園に集まり「丘のマルシェ」を開催します。アート鑑賞と合わせて、コーヒーやパン、スコーン、スープなどのおいしいフードをお楽しみください。

出店予定者／Tokoa coffee(八柱 OneTable や市内マルシェなどに出店)、ym(八柱 OneTable や市内マルシェなどに出店)、and coffee(八柱 OneTable 出店)、星子スコーン(河原塚せんぱく工舎)、俵珈琲(河原塚せんぱく工舎)、レトロサイクル&カフェ(河原塚せんぱく工舎)季節の焼き菓子 Charte(ハケ崎)、マルサン堂(常盤平)、Bebop Bagel(本町)、MoonboW(市川市、市内マルシェなどに出店)、TABELL(市内マルシェなどに出店)、食堂果樹(柏市、市内マルシェなどに出店)など



トーク シンポジウム&トークセッション／アルスエレクトロニカ（戸定邸）

アルスエレクトロニカの研究者やアーティストが、戸定邸の表座敷棟で作品や研究などに関するトークを行います。20日（土）16時～17時15分

特別開放 通用門の開放（戸定が丘歴史公園～千葉大学園芸学部）

戸定が丘歴史公園と千葉大学園芸学部をつなぐ通用門を会期中は特別に開放して、来場者の皆さんが通り抜け、行き来できるようにします。

（2）千葉大学園芸学部

戸定が丘歴史公園に隣接した、国立大学唯一の園芸学部です。トークセッションの実施や空間デザイン・ワークショップなどを実施します。

展示・ワークショップ

**エディブル・ガーデン／千葉大学園芸学部・みどりの回廊ワーキンググループ
（松戸キャンパス内）**

JR 松戸駅から千葉大学松戸キャンパス周辺エリアで活動をする学生グループとカレッジリンク・プログラムの協働で、見た目にも美しいエディブル・ランドスケープづくりを行います。沿道のエディブル・ウェイプランターに加えて、キャンパス内にエディブル・ガーデンをつくって、活動内容をまとめたパネルなども展示し、来場者の皆さんに散策を楽しんでもらうとともに、対話や学びの場を提供します。



エディブルウェイとは／英語で「食べられる」を意味する「EDIBLE」と、「道」や「方法」を意味する「WAY」をつなげた造語です。野菜やハーブなど食べられる植物をみんなで育てて、道を緑でつなげようという活動で、木下勇研究室が進める「食べられる景観(エディブルランドスケープ)」づくりの一環です。現在、JR 松戸駅から千葉大学園芸学部への沿道に、地域住民の皆さんが育てるプランターが各自の自宅前などに置かれ、周辺がエディブル・ウェイに変わってきています。

トーク シンポジウム&トークセッション／アルスエレクトロニカ他

（100周年記念戸定ヶ丘ホール）

アルスエレクトロニカの研究者やアーティスト、松戸市内で活動するクリエイターなどがトークなどを行い、コミュニケーションづくりや活動発表などを行います。



(3) 松戸観光案内所

ワークショップ 宇宙線が見える霧箱ワークショップ／東京大学宇宙線研究所

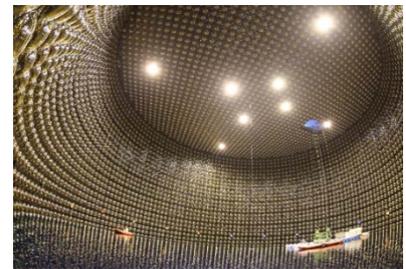
宇宙線研究所の先生が登場。宇宙線とは何かを紹介しながら、宇宙線を観察できる霧箱を一緒に作成して、実際に宇宙線を見る実験を楽しんでもらうワークショップを行います。お子さんも大人も楽しめます！

20日(土)のみ、11時30分～と14時～の2回
各先着15名、参加費無料



投影 スーパーカミオカンデ特別映像／東京大学宇宙線研究所

岐阜県飛騨市神岡町の神谷鉦山の地下1000メートルにある、純水5万トンを満たした円筒形のタンク「スーパーカミオカンデ」の貴重な最新映像を投影します。



(4) 松戸フューチャーセンター

市内外でプログラミング教室を実施する団体の皆さんが、映像作品の投影や参加者によるIT体験プログラムなどを実施します。

(5) 松戸駅西口デッキ

総合案内やワークショップを行います。

ワークショップ他 忘れ物傘ワークショップ／JOBANアートライン協議会 [同時開催]

JR東日本沿線の引き取り手のない忘れ物傘にペイントを施すアートワークショップを開催。参加費無料で、どなたでも参加可能！世界に一つだけのマイ傘を作ることができます。また、東京藝術大学の学生さんが忘れ物傘をアートな傘に変身させるライブペイントも開催します。会場では、JOBANアートラインスタンプラリーも実施中。本イベントに参加+アンケートに答えると、先着350名にクリアファイルをプレゼントします。20日(土)のみ実施。



(6) PARADISE AIR [同時開催]

オープスタジオ [同時開催]

アートが生まれる場所をのぞいてみよう

アーティストとクリエイターのための、普段は入れないスタジオを特別に公開します。





○イベントの詳細は

「科学と芸術の丘 2018」公式ホームページをご覧ください。

<http://science-art-matsudo.net/>



【主催】松戸市

【運営委託】0! - Zero Factorial (ゼロファクトリアル)

代表の清水陽子と、松戸市でパラダイスエア事業を展開している庄子渉、松戸市でアーティストやクリエイターに不動産を紹介する omusubi 不動産(有限会社ノコーポレーション)を中心に設立。

代表プロフィール／清水陽子・科学と芸術を融合するテクノロジーやインスタレーションをグローバルに研究、制作、発表。アメリカで育ちニューヨークのアートの影響を受ける。大学では生物化学を専攻。現在は自身のラボ「+1e(プラスワンイー)」においてバイオテクノロジーなどの先端科学を用いたデザインを研究しながら、国内外のギャラリーやミュージアム、企業(資生堂など)などで作品を展示する他、国際放送局でのパーソナリティや、TED TOKYO(テッド トーキョー)、FITC TOKYO(エフアイティーシー トーキョー)、アルスエレクトロニカなどのグローバルイベントにおけるトークやパフォーマンスなど、メディアを通じた活動を行う。各種芸術賞を受賞。

【協力】アルスエレクトロニカ、東京大学、千葉大学園芸学部、JR 東日本東京支社、新京成電鉄(株)、松戸探検隊ひみつ堂、Code for Matsudo

【後援】JOBANアトライン協議会、松戸商工会議所、一般社団法人松戸市観光協会、公益財団法人松戸市文化振興財団、公益財団法人松戸市国際交流協会、松戸市教育委員会

※本事業は、文化庁の平成30年度・文化芸術創造拠点形成事業の一つです。

【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課

☎047-366-7327